

【Basic】

筆記試験 <音楽理論> 例題

(30分)

1. 次の楽譜の記譜上の間違いを探し、下の五線紙に全て正しく書き直しなさい。ただし、拍子を変えないものとします。

1.

2.

3.

●拍子に対する正しいリズムの記譜法に関する出題です。

例) 4/4の場合→通常1小節を2拍ずつに分けます。1拍目と3拍目がはっきりわかるように書きましょう。3/4の場合→拍の途中では分けません。6/8の場合→1小節を付点4分音符単位で2つに分けます。付点4分音符を1拍とする2拍子と解釈します。ただし、付点2分音符は例外です。

●音符の棒の向きに注意しましょう。

ト音記号、ヘ音記号に関わらず、第3線を基準に判断しましょう。玉が第3線より上の場合は、棒は下向きになり、第3線より下の場合は、上向きになります。第3線上に玉がある場合は、一般的には下向きが多いです。ただし、8分音符等の符尾(旗)がつながっている場合は、符尾の向きが多い方、もしくは第3線より離れている音符を優先します。

●調号や臨時記号が正しく用いられているか確認しましょう。

調号の正しい順番や、位置、拍子記号、臨時記号の正しい位置を確認しましょう。

- ・左から音部記号、調号、拍子の順番で書きます。
- ・拍子記号は、「拍数/1拍の単位」で書きます。
- ・臨時記号は、音符の直前に書きます。

(正解)

1.

2.

3.

2. 次の譜例の演奏順を例にならって記号で答えて下さい。

例)

答 a-b-c-d-e-f-g-h-d-e

答 _____

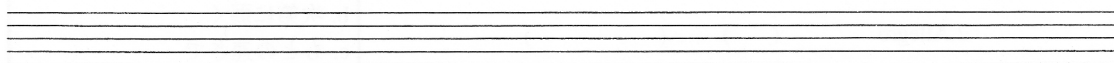
●リピート記号の種類や、進行の仕方を確認しましょう。

(正解)

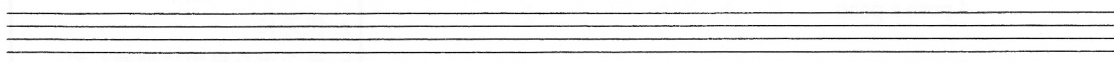
A-B-C-D-A-B-E-F-G-H-I-J-G-H-I-J-K-L-A-B-C-D-A-B-E-F

3. 下記に指定されたスケールを書いて下さい。音部記号の種類は自由に選択してください。また、調号、臨時記号の使用も自由とします。

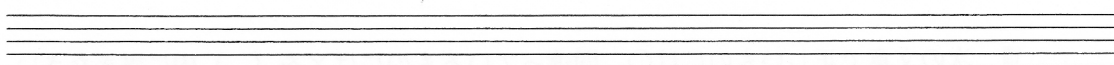
1. B \flat major (変ロ調長音階)



2. B harmonic minor (ロ調和声短音階)



3. D melodic minor <上行・下行> (ニ調旋律短音階)

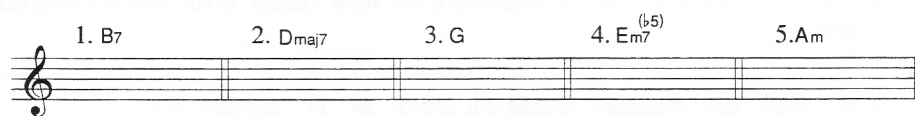


●各キーでの長音階、自然短音階、和声短音階、旋律短音階（上行形 / 下行形）は、それぞれの音階の特徴をよく理解しておきましょう。

(正解)



4. 次のコード・ネームを見て、その構成音を基本形で記入して下さい。



●指定したコード・ネームの構成音を五線上に基本形で記譜します。代表的なコードの種類について確認しておきましょう。

(正解)



5. 次の和音のコード・ネームを書いて下さい。



●代表的な三和音、四和音のコード・ネームや、その基本形、転回形について確認しておきましょう。

(正解) 1. F 2. D7 3. E7 4. C^{aug} 5. G^m

6. □の部分、トゥー・ファイブ (II^m7-V7) になるように、() 内に適切なコード・ネームを書いて下さい。

Key : F major

()	F7	B [♯] maj7	B [♯] m7	()	A [♯] maj7		
Am7	()	()	G7	G ^m 7	C7	Fmaj7	

●マイナー・セブンス・コード、あるいは、マイナー・セブン・フラット・ファイブ・コードからルートが完全4度上(完全5度下)のドミナント・セブンス・コードに動く進行です。色々なキーのトゥー・ファイブを確認しておきましょう。

(正解) 順に Cm7 Eb7 D7 Dm7

7. 次の楽語に相当する意味を右の語群から選び、記号で答えなさい。また、読み方をカタカナで答えて下さい。

<楽語>	<答え>	<読み方>
1.crescendo	()	()
2.Allegro	()	()
3.decrescendo	()	()
4.poco a poco	()	()
5.Moderato	()	()

<語群>

- a. 次第に強く
- b. 次第に弱く
- c. もとの速さで
- d. 少しずつ
- e. 次第に遅く
- f. 中ぐらいの速さで
- g. 快速に
- h. テンポを自由に加減して

●中学校の教科書程度、及び、アンサンブル・スコア等で使用頻度の高いものについて出題されます。

(正解) 1. aークレッシェンド 2. gーアレグロ 3. bーデクレッシェンド
4. dーポコ・ア・ポコ 5. fーモデラート

8. 次の文章で正しいものには○、間違っているものは×を（ ）内を書いて下さい。

1. () 3/4拍子の楽曲で $\downarrow=120$ の場合、80小節演奏するには40秒かかる。
2. () メジャー・セブンス・コードの基本形では、Root (根音) と7th (第7音) の音程は短7度 (m7) である。
3. () 変イ長調 (key: A^bmajor) には調号 \flat が3つ、B^b、E^b、A^bの順につく。
4. () イ長調 (key: A major) の同主調は、イ短調 (key: A minor) である。
5. () エレクトリック・ベースは低音部記号を用いて楽譜に書き表す。この時、記譜された音は実音より1オクターブ低い。

●調号、コードの構成音、演奏時間、移調楽器の記譜、楽器固有の特殊な奏法の名称等が出題されます。市販のポピュラー理論書や楽典の本を参考にすると良いでしょう。

(正解)

1. × →1拍の所要時間は、 $60 \div 120$ で1拍は、0.5秒です。3拍子なので1小節は、1.5秒となります。そこで、1.5秒×80小節は、120秒となります。
2. × →メジャー・セブンス・コードでは、Root と7thの間は、長7度です。
3. × →正しくは、B^b、E^b、A^b、D^bの順番に \flat が4つです。
4. ○
5. × →ベースは、記譜と発音が1オクターブ異なります。記譜の際は、1オクターブ高く記譜します。